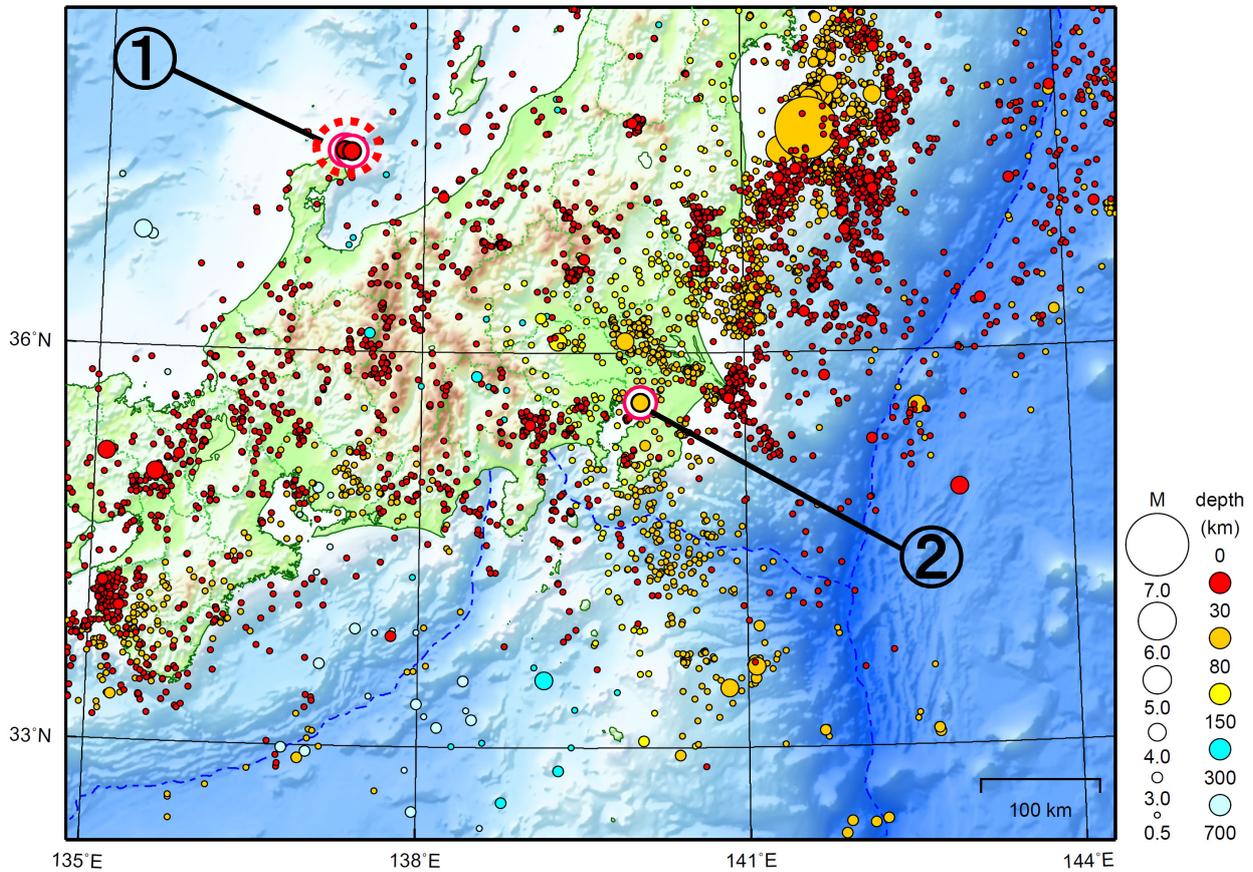


# 関東・中部地方

2022/03/01 00:00 ~ 2022/03/31 24:00

N=17782



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

- ① 石川県能登地方では3月中に最大震度1以上を観測した地震が22回（震度4：2回、震度3：3回、震度2：6回、震度1：11回）発生した。このうち8日のM4.8の地震及び23日のM4.3の地震により最大震度4を観測した。

8日01時58分に発生した地震の情報発表に用いた震央地名は[能登半島沖]である。

- ② 3月31日に東京湾でM4.7の地震（最大震度4）が発生した。

情報発表に用いた震央地名は[千葉県北西部]である。

(上記期間外)

4月2日に茨城県北部でM4.4の地震（最大震度4）が発生した。

4月4日に石川県能登地方でM4.3の地震（最大震度4）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

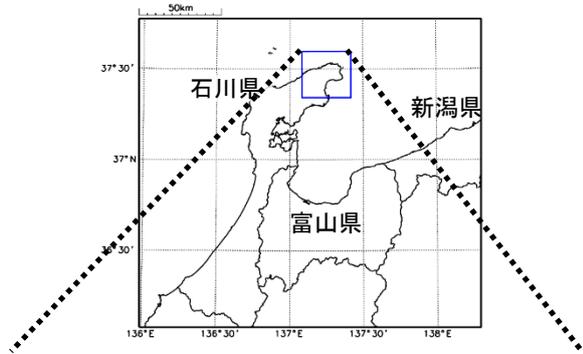
気象庁・文部科学省

# 石川県能登地方の地震活動

## 震央分布図

(2020年12月1日～2022年3月31日、  
深さ0～25km、M≥1.0)

黒色の吹き出しは領域a、c、d内で最大規模の地震  
赤色の吹き出しは矩形内で2022年3月中のM4.0以上の地震  
及び領域b内で最大規模の地震  
2022年3月の地震を赤色で表示



石川県能登地方（拡大図の矩形内）では、2018年頃から地震回数が増加傾向となり、2020年12月から地震活動が活発になった。2022年3月中もその傾向は継続している。2022年3月中の最大規模の地震は、8日に能登半島沖<sup>(注)</sup>で発生したM4.8の地震（最大震度4）である。また、23日にはM4.3（最大震度4）の地震が発生した。なお、活動の全期間を通じて最大規模の地震は、2021年9月16日に発生したM5.1の地震（最大震度5弱）である。

2020年12月以降の領域別の地震活動をみると、最初に活発化した領域bの活動は、2021年4月以降鈍化傾向であるが、2021年11月初頭前後や2022年1月頃、3月頃に一時活発になった。領域bに続き活発化した領域cの活動も鈍化傾向であるが、2021年12月はやや活発になった。一方、遅れて活発化した領域a及び領域dの活動は依然活発である。矩形領域内で震度1以上を観測した地震の回数は以下の表のとおり。

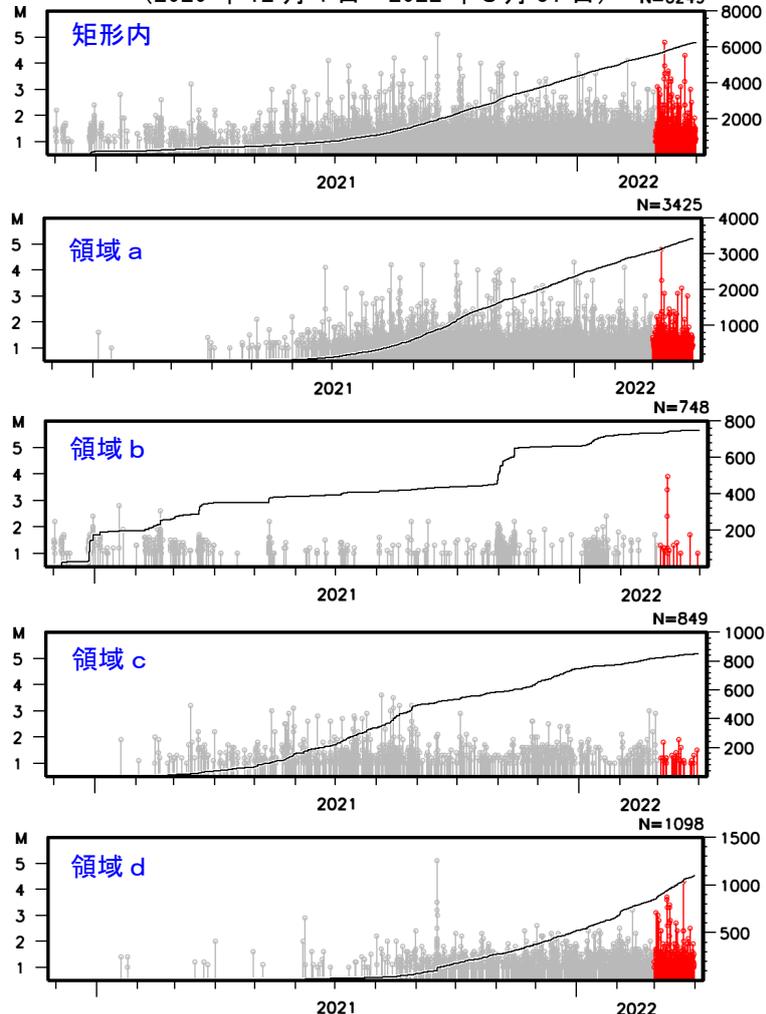
(注) 情報発表に用いた震央地名は[石川県能登地方]である。

期間別・震度別の地震発生回数表

期間	震度					計
	1	2	3	4	5弱	
2020年12月1日～2022年2月28日	46	23	11	1	1	82
2022年3月1日～31日	11	6	3	2	0	22
2022年4月1日～8日08時	0	2	1	1	0	4
計	57	31	15	4	1	108

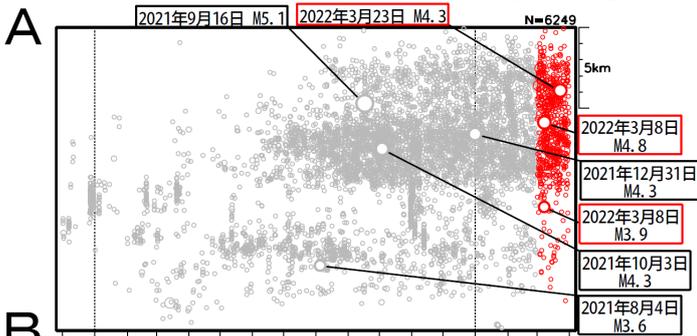
左図矩形内及び領域a～d内のM-T図及び回数積算図

(2020年12月1日～2022年3月31日)

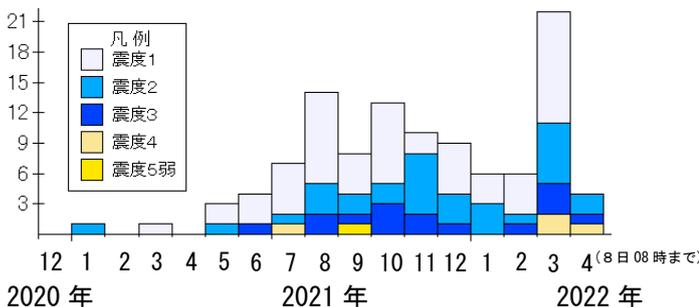


上図矩形内の時空間分布図 (A-B投影)

吹き出しは上図と同様



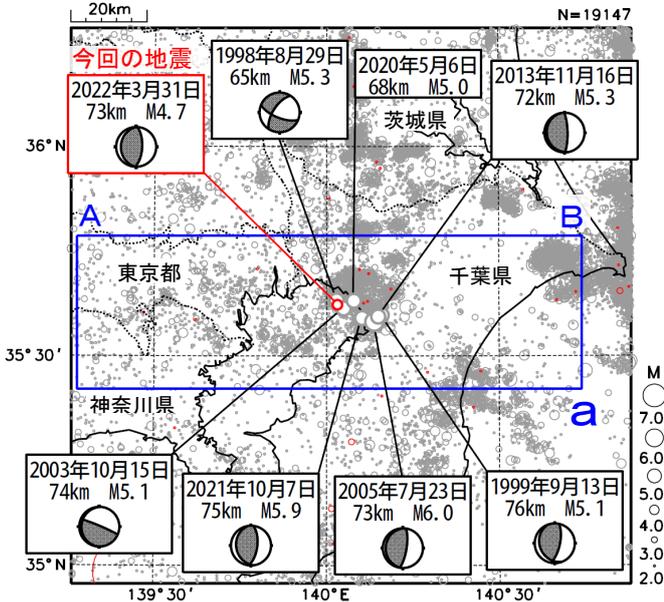
矩形内の地震の月別震度別発生回数  
(2020年12月1日～2022年4月8日08時)



# 3月31日 東京湾の地震

情報発表に用いた震央地名は〔千葉県北西部〕である。

震央分布図  
(1997年10月1日～2022年3月31日、  
深さ0～150km、M≥2.0)  
2022年3月の地震を赤色で表示

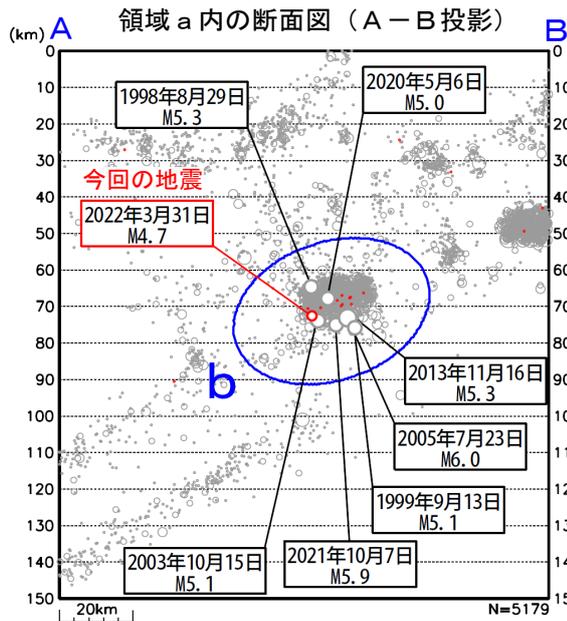
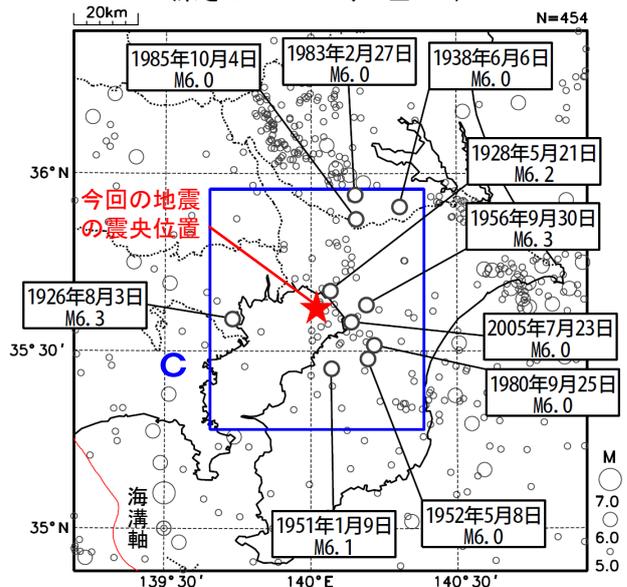


2022年3月31日20時52分に、東京湾の深さ73kmでM4.7の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。

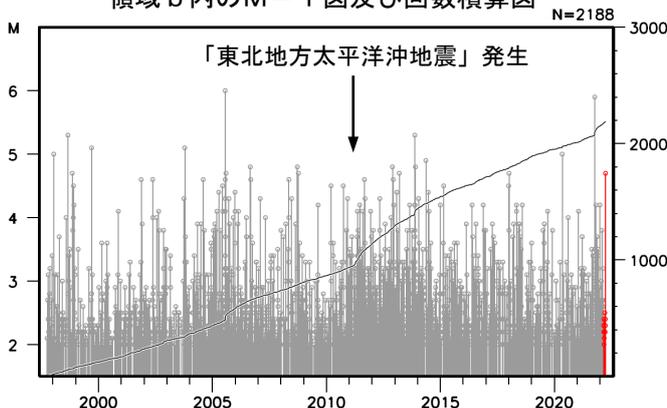
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) は、M5.0以上の地震が時々発生するなど地震活動が活発な領域であり、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」 (以下、「東北地方太平洋沖地震」) 発生以降、地震活動がより活発になっている。最近では、2021年10月7日に発生したM5.9の地震 (最大震度5強) により、負傷者50人、住家一部破損42棟などの被害を生じた (総務省消防庁による)。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0程度の地震が時々発生している。

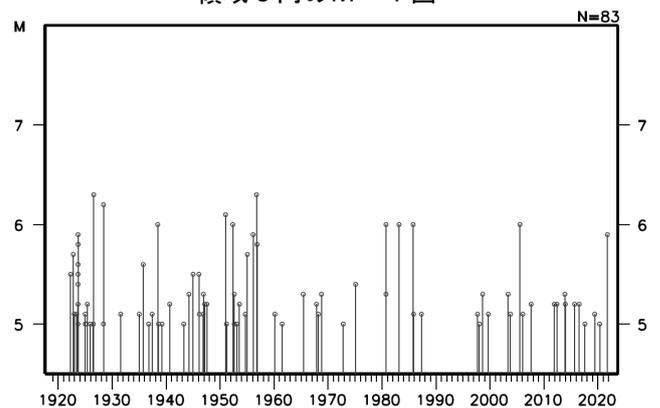
震央分布図  
(1919年1月1日～2022年3月31日、  
深さ0～150km、M≥5.0)



領域b内のM-T図及び回数積算図

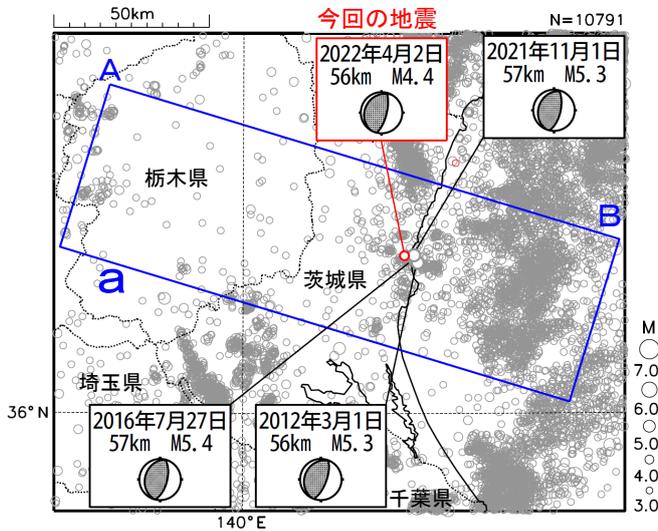


領域c内のM-T図



# 4月2日 茨城県北部の地震

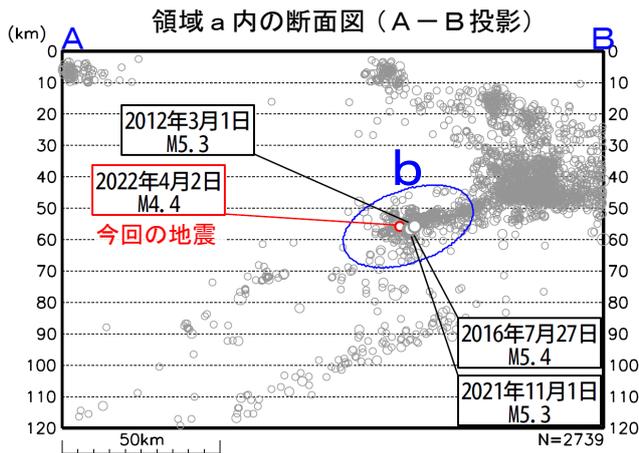
震央分布図  
(1977年10月1日～2022年4月3日、  
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$ )  
2022年4月の地震を赤色で表示



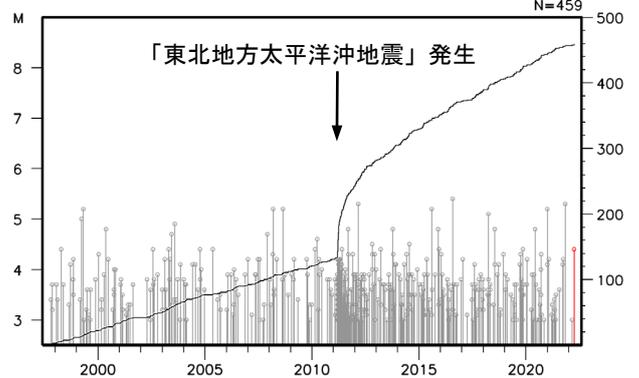
2022年4月2日16時27分に茨城県北部の深さ56kmでM4.4の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1977年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震が時々発生している。「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」)の発生以降、活動がより活発になっており、2012年3月1日にはM5.3の地震(最大震度5弱)、2016年7月27日にはM5.4の地震(最大震度5弱)などが発生している。

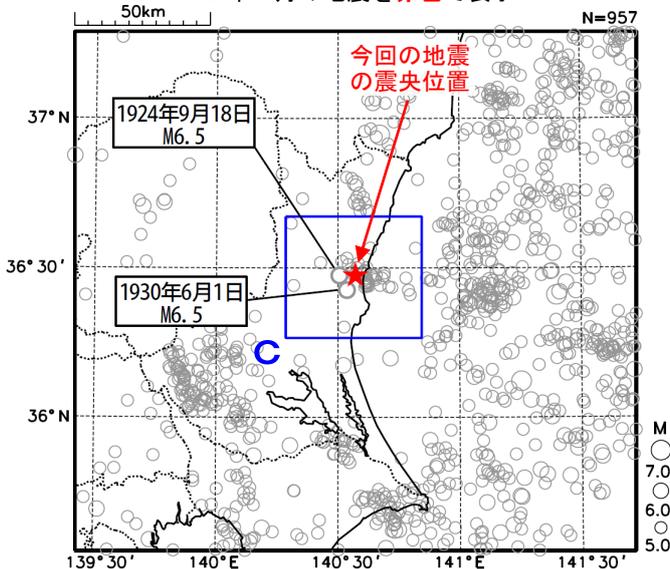
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域c)では、M5.0以上の地震が度々発生しており、このうち、1930年6月1日に発生したM6.5の地震(最大震度5)では、がけ崩れ、煙突倒壊などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図  
(1919年1月1日～2022年4月3日、  
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$ )  
2022年4月の地震を赤色で表示



領域c内のM-T図

